

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野(砂防) 平成28年度採択テーマ 中間評価結果

テーマおよび概要		提案者名	中間評価コメント
テーマ	深層崩壊に対する警戒避難の発表ならびに解除に資する雨量データ解析手法の構築	京都大学 農学研究科 教授 小杉 賢一朗	研究は計画通りに順調に進捗している、今後の発展に期待する。
概要	紀伊山地の深層崩壊危険斜面を対象に、降雨に対する地下水位応答を、地質調査・物理探査結果を考慮して解析し、警戒避難の発表・解除の方法を提案する。		
テーマ	雲仙普賢岳におけるガリーの長期的な発達を考慮した土石流発生予測手法の開発	宮崎大学 准教授 篠原 慶規	研究は順調に進捗しているものの、今後は個々のアプローチの結果の統合化を念頭に今後の研究を実施されたい。
概要	水無川流域において、ガリーの長期的な発達や水文プロセスを明らかにし、将来に渡って適用可能な土石流発生予測モデルを構築する。		
テーマ	シカの高密度化が流域の土砂流出に及ぼす影響評価手法の開発と将来予測	信州大学 農学部 助教 福山 泰治郎	緻密な現地観測により貴重なデータが取得されているなど順調に進捗しているが、今後は流域スケール毎の違いを考慮した上で研究を進めて頂き、更なる進展を期待したい。
概要	シカの増加が流域の表土流出に及ぼす影響を評価するために、砂防堰堤の堆積速度、頭数、土砂生産、気象等の年変化を関連付ける。		
テーマ	現地観測および水路実験の比較検証に基づく土砂生産域における土石流評価手法の開発	筑波大学 生命環境系 准教授 堀田 紀文	本研究は順調に進捗しているが、今後は研究成果の汎用性について検討し、研究の中で明らかになった事実を提示されたい。
概要	大谷崩での土石流観測によって崩壊地からの土砂供給形態の特徴を抽出し、水路実験での検証を経て土石流数値計算に反映する。		
テーマ	河川水の溶存物質・浮遊物フラックスに基づく小規模流域の風化・侵食速度推定技術の開発	新潟大学 災害・復興科学研究所 准教授 渡部 直喜	今後の研究にあたり、観測結果の信頼性を示すととともに、砂防事業への活用を念頭に研究を進められたい。
概要	堆積軟岩を基岩とする新潟県の芋川流域を調査対象とし、河川水の溶存物質・浮遊物フラックスに基づいて、小流域毎の風化・侵食速度を推定する技術を開発する。		

(五十音順、敬称略)